

組立式 屋外用コインシャワー

緊急災害対応シャワーシリーズ



株式会社 タニモト

- 商品改良のため、仕様・外觀は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
- 印刷物と実物では多少色味が異なる場合があります。

安心を、備える。

組立式 屋外用コインシャワー 緊急災害対応シャワーシリーズ

- ・ 平常時の長期備蓄に耐え、品質を保つこと
- ・ 災害など、有事の際には迅速に稼働設置ができること

目次

組立式 屋外用コインシャワー	
エンカレッジ Ⅰ型	3
エンカレッジ Ⅱ型	4
エンカレッジ Ⅲ型 車椅子対応	5
別売・オプショソ	6
NBC 災害対応 緊急シャワーシリーズ	
緊急用シャワーユニット	7
洗眼用シャワーユニット	8
緊急災害対応常設コインシャワー	9～10
災害時、現地で入浴設備に求められること	11～12
被災地の悩みに応えるエンカレッジの特徴	13～17
緊急消防救助隊／国土強靱化計画	18
被災地採用事例	19～22
製品仕様	23～24
会社概要	25～26

この2点が、防災・労働災害対策製品には欠かせません。
この2つを満たす品質を実現するため、弊社の技術を全力で投入し、緊急災害対応シャワーシリーズが生まれました。

潮風、砂、不特定多数の利用など、過酷な環境で安定した品質が求められる海水浴場向けコイン式温水シャワーから始まり、40年以上にわたる研究開発によって生まれた弊社の製品群の実績は、日本国内ですでに20,000台以上にものぼります。それらすべての製品が、耐久性、経済性の両立を高い次元で実現しており、他社の追隨を許しません。

ENCOURAGE(エンカレッジ)という名前に込めた思い

ENCOURAGE(エンカレッジ)とは、**勇気づける、元気づける、希望を与える**、というような意味をもつ言葉です。
万が一、災害が起きてしまったときに、温かいシャワーが被災されたみなさまを勇気づけ、元気づけ、復興への希望を与えられれば、という私たちの思いを込めた名前です。



エンカレッジ I 型 (1室型)

コンパクト設計だから、備蓄のためのスペースも少なく済み、車両への搭載や空輸も可能。



梱包状態

積み重ねて収納することもできます。



パーツ収納

シャワー室の組み立てに必要なものが全て収納されています。



エンカレッジ II 型 (2室型)

1つのユニットに2つのシャワー室。保管や設置スペースを効率的に使えます。



梱包状態

積み重ねて収納が可能です。



パーツ収納

2室分のシャワー室の組み立てに必要なものが全て収納されています。



コインシャワー

- ✓ コインで湯量と時間を制御
- ✓ 好みの湯温に調節できる
- ✓ 一時停止 / 再開ができる



脱衣スペース

シャワールーム内に脱衣スペース。個室の中で衣服を着脱でき、女性も安心して入浴できます。

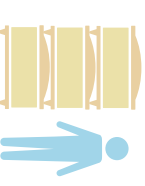


軽量素材
を使用
大人4人で
持ち運べる

工具不要、一般人でも
短時間で簡単組立て



積み重ね可能
備蓄時に
コンパクト収納



バリアフリー仕様

床とシャワーの間に段差がないフラット床のバリアフリー仕様です。

木枠が簡易の脱衣スペースに

運送時の木枠梱包を開梱して取り出せば、簡易な脱衣スペースを作れるように設計されています。
※目隠しネットもオプションでご用意できます。



Youtube
組立方法動画はこちら



エンカレッジⅢ型 (車いす対応)

ワイドな折れ戸で、車いすでもまるごとラクラク専用設計のサッシドアだから、軽いつ力で開閉できます。



梱包状態

積み重ねて収納することもできます。



専用スロープ

専用スロープを使えば無理なく入ることができます。(オプション)



間仕切りを外せば 約1.5畳のプライベート空間に

間仕切りを外せば、約1.5畳のプライベート空間に。シャワー使用時以外は、女性の着替えや授乳のできるスペースとして利用できます。

風に強い折れ戸を採用

風圧によるドアの急な開閉を防ぐため、折れ戸を採用。ドア部分のアルミサッシは全パーツ専用設計。

軽量素材
を使用
大人4人で
持ち運べる



工具不要、一般人でも
短時間で簡単組立て



積み重ね可能
備置時に
コンパクト収納



オプション・別売

ポイラーユニット



ポイラーユニット2~4室用

寸法：700(H)×655(W)×531(D) 重量：48kg
灯油タンク：18リットル 給水方法：水道直結式
ポイラー：瞬間貯湯式灯油焚き 40,000kcal/h
消費電力：点灯時 100/95W、燃焼時 85/85W



ポイラーユニット4~8室用

寸法：1415(H)×1000(W)×850(D) 重量：190kg
灯油タンク：90リットル 給水方法：水道直結式
ポイラー：瞬間貯湯式灯油焚き 60,000kcal/h
消費電力：点灯時 145/142W、燃焼時 130/127W

小型ポイラーは通常1台でおよそ4室、大型ポイラーは通常1台でおよそ8室の使用が可能です。
※給水温度や気温により変動します。

浄水器・給水ポンプ



- ライオンが塗絶えているときに必要です。
- プールや川の水を浄化することができます。
- 浄水は生活用水として利用できますが、飲み水にはできません。

発電機



ライオンが塗絶えているときに必要です。
※市販品です。

専用スロープ



車いす対応タイプ、エンカレッジⅢ型専用のスロープです。

外部テント用シート

木枠梱包を開梱し、製品を取り出せば簡易な更衣スペースを作れるように設計されています。その際の目隠しテント用シートもご用意できます。

※ブルーシート等で
代用できます。



NBC 災害対応 有害な薬品等を使用する工場などの施設に

緊急用シャワーユニット

積層 FRP 成形のシャワー室は高強度を確保。
現場での簡単組み立てを考慮し、各パーツをユニット化。



積層 FRP 成形のシャワー室は高強度を確保。サビや化学物質に極めて強いので、有害な薬品や、薬液を取り扱う工場や作業所・研究所はもちろん、洗浄度の高いクリーンルームにも設置が可能です。
また現場での簡単組み立てを考慮し、各パーツはユニット化されています。



緊急時にリバーを引くだけの操作で確実にシャワーを浴びることが出来ます。

設置・解体が簡単な分解型

屋根と床・壁パネルは FRP 積層形成のため、設置現場で簡単に組み立てが可能です。



写真確認

S19-120



S19-270HD



S19-240



S19-220



Bradley は ANSI 規格の適合製品です。

1981年、米国において緊急シャワーおよびアイウォッシュャー設計製作の基となる ANSI (American National Standards Institute/米国規格協会) Z358.1が制定されました。(その後改定が加えられ、現在では cANSI Z358.1-2004 が最新)
日本においても 1970 年労働省により、特定化学物質の障害予防規則(特化則)が定められ、シャワー/アイウォッシュャーの設置が義務付けられることになりました。
しかし、特化則においては第 38 条で設備の義務をうたうだけの抽象的なものであり、具体的には ANSI 規格が事実上の国際規格となっています。



BRADLEY の緊急シャワー/アイウォッシュャーは全てこの ANSI 規格に適合するものです。また、第三者機関である SEI (Safety Equipment Institute/安全器具協会) の承認も受けています。



洗眼用シャワーユニット

平常時は薬品を使用した治具などの洗浄に利用、
緊急時には有害な薬液の洗眼に使用できます。



オールインワン設計

ユニット内部に排水槽・ポンプ・液面計のすべてが収まるコンパクト設計になっています。

選べる排水方法

排水槽があるタイプと、排水槽のない自然排水タイプをお選びいただけます。



緊急シャワーをより安全に

オプション サーマスタットミキシングバルブ [ナビゲーター EFX25 / EFX60]

安全に緊急シャワーを浴びるには、適切な温度の温水を安定して供給することがたいへん重要です。なぜなら、緊急時の洗眼およびシャワーは、最低 15 分浴びることが必要とされていますが、人体は 15°C 以下の水を 15 分浴びると、低体温状態につながるリスクがあり、同時に 38°C を超える温水での長時間の洗眼は目にダメージを与え、加えて化学物質の反応作用を高めてしまう危険があるからです。

弊社製品に搭載された BRADLEY 緊急シャワー洗眼器用サーモスタットミキシングバルブは、シャワーによる人体に与える悪影響を極力排除し、利用者を守るために開発された製品です。



特殊シャワー熱源からシャワーユニットまで、 ご用途に応じ、1 台から設計製作いたします。

ラソコ除染シャワーは、災害現場周辺に設置可能な可搬型の除染シャワーです。汚染した防護服を脱ぐ前にテント内で除染するので、汚水をテント外部に飛散させずに回収できる構造です。
救助隊員の脱衣時二次災害を防止できます。

NBC 災害の二次災害を防ぐには除染システムの備えが必要です



大型除染シャワー &
除染用シャワー熱源灯油ボイラユニット

被災地で入浴設備に

求められていること

① 迅速な入浴設備の確保と設置

災害が起こって間もないうちは、自衛隊による仮設風呂が設置されます。ところがその仮設風呂も災害派遣の終了と同時に終了してしまい、その後も続く避難生活や、戻らないライフラインの代替として、各自治体による入浴設備の確保や設置が求められることとなります。

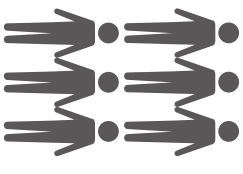
自衛隊の仮設風呂はいつまでもありません



自衛隊の仮設風呂は1日に2000人の利用可能人数を誇りますが、災害派遣が終了すれば仮設風呂も一緒に撤去されることはあまり知られていません。熊本から温水シャワーの要請があったのも、地震発生から2ヶ月後、住民の避難所生活が続く中での自衛隊災害派遣終了に伴う仮設風呂撤去によるものでした。

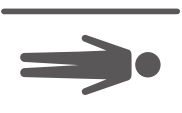
④ 大人数の入浴管理と公平性

被災地では、限られた数の入浴設備を非常に大勢の人が利用することになります。それだけでなくもつらい避難所生活の中では、ちょっとした不公平感が大きな不満やトラブルのもとになりかねません。長時間の独占を防止するなど、入浴機会を公平に保つための管理は欠かせませんが、管理をするための人員の確保も困難です。



⑤ 利用者のプライバシー

プライバシーな空間などないに等しい避難所での生活。プライバシーが保たれない状態はかなりのストレスの原因になっているといわれています。せっかくの自衛隊の仮設風呂も、他の人と一緒に入る混浴は嫌だからと利用しない人が少なからずいらっしゃるようです。



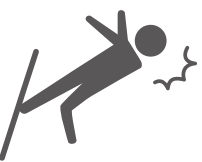
② 衛生管理と感染症の防止

避難所で最も気を付けなければいけないことの1つが、病気などの集団感染による2次災害。ストレスと不安、睡眠不足などで体力や抵抗力も低下しやすい環境で感染症を防ぐために、入浴設備の衛生管理はとても重要なポイントです。また感染症予防の観点だけではなく、いままで当たり前前に清潔な生活を送っていた人々にとって、衛生的でない環境は不快とストレスを強める恐れがあるため配慮が必要です。



③ 安全設計

入浴設備での事故というのは想像以上に起こりやすいものです。被災地という、医師も物資も不足する中で、特に子供やお年寄りのやけどや転倒事故などが起こらないようにするための配慮はとても大切です。



⑥ ボランティアの受け入れ態勢

交通費も食費も負担して、被災地でホコリや泥まみれになって活動するボランティアの方々。その行動を当然のものとして、きちんとした受け入れ態勢のひとつとして、入浴設備などを自治体が用意する動きが望まれています。

対応を求められる自治体職員も同じ「被災者」

自衛隊が撤収した後の被災地の入浴施設の設置と管理は、自治体が行うことになります。しかし、その担当者である自治体職員も他の住民と同じ被災者です。限られた人員で慣れない業務をこなしながら、過酷な状況、多様な要望にに対応せざるを得ないというのが過去の災害の例で見られた実情です。



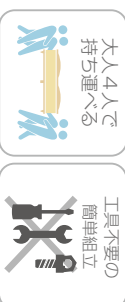
被災地の悩みに応える

重機不要、複雑な電気・配管工事、設置・撤去工事も一切不要
誰でも簡単に組み立てられる組立式シャワー

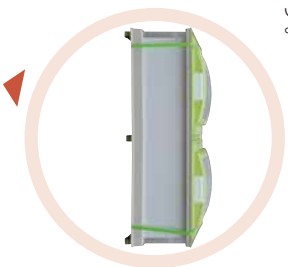
1 入浴設備の迅速な設置

初めて組み立てるケースでも、大人4人で半日あれば、**エンカレツジ2台の組立からポイラー接続まで完成。すぐに入浴が可能です。**

大人4人で運べる軽量素材と、工具いらすの
カンタン組立設計。完成すれば丈夫なシャワー
室に早変わりです。

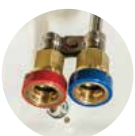


熊本地震の際の益城町保健福祉センターでは
9室分が2時間程度で組み立てられました。



工具不要のカンタン配管接続
シャワー室裏面の接続口から給水・給湯電源な
どを給湯器に接続します。

給水・給湯接続用カプラー種は
ご要望に応じて変更できます。



配管の接続は、水は青色、湯は
赤色と分けているので、初めて
の方でも迷わず簡単に取り付け
られます。



※避難場所で、AC100Vの電源・一般水道等ライオンが使用できる場合は、一般の方でもすぐに設置が可能です。
※ライオンが途絶えている場合や、給水・排水の設備が必要な場合は、状況に応じて別途オプションで対応できます。

エンカレツジの特徴

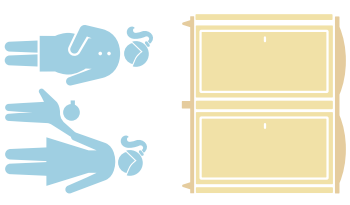
清潔で快適なかけ流しのシャワー

2 衛生管理と感染症の防止

浴槽に比べて衛生面の心配が少なければ流しのシャワー

エンカレツジは浴槽ではなく、かけ流しのシャワーですので常に清
潔な入浴をすることができ、湯水を通しての感染の心配や、衛生面
での問題に悩む必要がありません。また、排水はトイレなどに再利
用可能です。

さらに、暖かく清潔なシャワーを浴びることによって「ホッとした」
などの声もあり、精神的ストレスへのアプローチが期待できます。



やけどに配慮した自動湯温調節機能とバリアフリー

3 入浴中の事故防止

人体に危険がない温度に調節

何より求められる「安全」。
エンカレツジは自動湯温調節機能によ
って、人体にとって危険のない、適切
な温度のお湯を安定して供給でき
るよう設計されています。

安心バリアフリー設計

出入りの際の転倒を防止するために、
床とサッシの段差をなくし、フラットに
したバリアフリー仕様になっています。



フラットになっている
出入口

車いすごとシャワー室
に入れるタイプもご用
意しています。

サーモスタットミキシング
バルブを使用して
「ぬるめ、あつめ」
などの温度調節
が可能です。



車いす対応
エンカレツジ型



自動運転だから計画的でスムーズな運営

4 大人数の入浴管理と公平性

コインタイマーが時間や湯量を計画的にコントロール。人手が足りない時もメダル管理の自動運転でスムーズな運営が可能。

エンカレッジは「コインタイマー」によって1回あたりの湯量や時間をコントロールしており、時間当たりの利用者数を計算できるなど、入浴施設の計画的な運営が可能となっています。

利用者の入浴機会の公平性を保つことも容易ですし、状況や表情に応じてコイン1枚当たりの出湯時間を調節することもでき、無駄がありません。

人手が足りない中での大勢の利用でも、コイン管理の自動運転によって混乱なくスムーズな運営が可能です。



【例】1人1枚配布、更衣5分
シャワー出湯時間10分で
1時間におよそ4人使用可能
均一で公平な入浴機会が
提供できる

完全個室でプライバシーをしっかり守る

5 利用者のプライバシー

完全個室タイプのシャワールーム

内には、カーテンで仕切られ脱衣も可能なスベースがあります。室内に脱衣スベースを確保することで、他人の目を気にすることなく、女性でも安心して利用できます。



木枠梱包を開梱して製品を取り出せば、簡易な脱衣スベースが作れるように設計されています。



※シートはオプションです。

運送時の梱包に利用している木枠を組み替えれば、簡易な更衣スベースを作ることができます。

被災地での女性への配慮が課題となっています。

熊本地震の被災地で女性に配慮した支援が行われたかどうかを検証するため、内閣府が実施した調査報告書で、指定避難所の設置・運営をした24市町村に女性用更衣室や授乳室、プライバシー確保のための間仕切り設置の有無などを聞いたところ、**約4割の10市町村ではいずれも設置まで手が回っていない事**が判明しました。

(読売新聞2017年4月17日より)

ニーズの高い設備を手間なしで提供

6 ボランテニアの受け入れ態勢

ボランティアを受け入れる自治体の受け入れ体制の1つとして入浴施設が導入される動きが始まっています。

交通費も食費もすべて負担して、ホコリやドロみれになって活動するボランティアの方々に対し、支援を受ける自治体からも配慮が必要だと考えられるようになってきました。エンカレッジが設置されたボランティアセンターでは、泥まみれのまま帰路につかずに済んで助かったと、多くのボランティアの方々に大変喜ばれました。

石巻市ピースボート

石巻のボランティアセンターにエンカレッジII型を5台(シャワー10室)と、10室用ボイラーシステム1基を設置。ボランティアの方々に一年間に渡り使用されました。



倉敷市災害ボランティアセンター

炎天下の中、泥だらけになりながらボランティアに働いた方々のために、企業からの支援によりエンカレッジII型(2室型)が2台設置されました。(株式会社トラスノック様)



1コインあたりの出湯時間をコントロール可能

出湯時間を調節し、時間当たりの利用人数や使用水量・光熱費をコントロール



シャワーの出湯時間の調節はパネルを開いた中にあるコントロール基盤のスイッチの切り替えで、任意に調節することができます。

ライオンが途絶えていても使えるシャワー

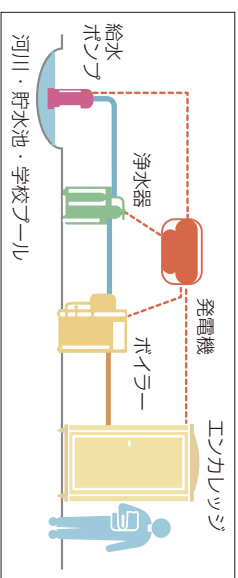
発電機や給水ポンプを使用すれば、ライオン断絶時にも温かいシャワーを提供可能

オアション（別売）の発電機や給水ポンプ、浄水器を使用すれば、ライオンが断絶している時にも温かいシャワーを提供することができます。



発電機（オアション） 給水ポンプと浄水器（オアション）

ライオン断絶時の稼働ユニットイメージ



民家の井戸水をポンプでくみ上げて利用した事例（2004年 新潟県中越地震）

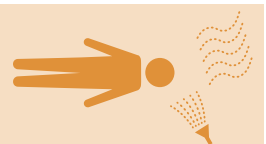


河川でのシステム実験の様子

シャワーなのにこんなにあっただかい気密性で寒い冬でも中はポカポカ

気密性の高いシャワー室は温まった温度を逃がしません。

気密性が高いから、冬に使用する場合でもお湯の温かさで室内はポカポカです。
シャワーは寒いと思われるかもしれませんが、十分に温まることが出来ます。



軽くて丈夫で長持ち、長期保管に耐える高耐久性素材

大勢の人の利用にも長期保管にも耐える樹脂板中空材



軽量・断熱・曲げ剛性・防腐蚀性に優れた樹脂板中空材を、アルミ引抜型材で補強した、大勢の利用にも長期間の備蓄にも耐える仕様です。

新規導入された消防庁「拠点機能形成車」に弊社の組立式コインシャワー エンカレッジが採用、搭載されました。



全国の消防本部に配備された緊急消防救助隊、拠点機能形成車両



コンパクトに収納可能な長所を生かして、消防庁拠点機能形成車にエンカレッジI型（1室タイプ）が採用、搭載されました。過酷な環境での活動中の隊員のみならず、温かいシャワーを提供することが可能になりました。

シャワー室と灯油専用給湯器の構成で2セット搭載

行政・自治体をはじめ、さまざまな機関に導入されています

陸上自衛隊／陸上自衛隊教育隊／消防庁関係／消防署関係／消防団関係／警察関係／各地方自治体／山岳関係／病院関係／災害時被災地



内閣官房「国土強化 民間の取組事例集」に選定されました

国土強化 民間の取組事例集とは

民間企業の国土強化に資する主体的な取り組みの促進に向けた施策展開のため、大規模自然災害に対する民間企業自身の災害対応力や地域の防災力の向上等に役に立つ取り組みなど、国土強化に資する事例を内閣官房が選定したものです。



導入事例

新潟県（新潟県中越地震 2004年）

新潟県中越地震で被害を受けた長岡市、小千谷市の避難場所となっていた体育館や民家の庭先にエンカレッジを設置。水道が止まった地域でもシャワーが利用できました。



熱心に使用説明を聞く被災者の方々。水道が復旧していなかったため、小川の水をポンプで組み上げ、浄化して利用しました。

避難所など数カ所にエンカレッジを設置。利用した被災者の方から、「シャワーがこんなに温かいと思わなかった」「衛生的なのが良い」と喜んで頂けました。



長岡市の避難場所となった中学校の体育館に設置。廃材・テント等を使い、フライバシーを確保しました。

阪神淡路大震災の際、神戸に贈ったロッジ型のシャワーを移送しました。



阪神淡路大震災の時、神戸市の避難所に寄贈したシャワーを利用した被災者の方が、新潟県中越地震発生の際に、「このシャワーを新潟の方に使ってもらってはどうか」と新聞社に提言され、神戸市から新潟に移送、小千谷市の公民館に設置されました。

宮城県（東日本大震災 2011年）

石巻市のボランティアセンターに設置。1年間にわたり、支援に訪れるボランティアの皆さんにお使いいただきました。



エンカレッジII（2室型）5台で、一日約1000人が利用可能
ポイラー1台で10室分の稼働もOK

エンカレッジ5台10室分のシャワーを、60,000kcal/hのポイラーユニット1台で自動制御し稼働しました。接続も簡単で専門的な知識も許可も不要、何の手間もいりません。



メタル管理の自動運転で、人手が足りない時の大人数の利用でも、混乱なくスムーズに利用することができます。

熊本県（熊本地震 2016年）

自衛隊の災害派遣終了にともない、入浴施設も同時に撤去されてしまったため、急遽導入することになりました。



益城町保険福祉センターはびねす

特に揺れの大きかった益城町では、長引く余震のために多数の帰宅困難者が避難されています。自衛隊の災害派遣終了とともに入浴施設も撤去されてたため、急遽設置の要請を受けました。



組み立てシャワー
1室型を5台と
2室型を2台
計9室分を設置
しました。



9室を半日程度で
組み立て。
テントも設置し、
より安心・快適に。



熊本刑務所

地震発生の際は周囲の住民が刑務所に避難され、当初はビニールプールにお湯を溜めて身体を洗っていましたが、法務省からの受注を請け、入浴設備としてエンカレッジII型（2室タイプ）を採用していただきました。



熱心に説明を受ける教務官の方々

岡山県（西日本豪雨 2018年）

4か所にエンカレッジ9台 計14室分を設置させていただきました。



真備町岡田小学校

避難所に使われた真備町岡田小学校の体育館に、エンカレッジII（2室型）を2台設置。



車いす対応のエンカレッジIIIも設置されました。

総社市カルチャーセンター

給・排水工事を含めて2台を3時間程度で設置完了。4室分のシャワーを、灯油給湯器1台で運転することができました。



倉敷市二万小学校

避難所になった倉敷市二万小学校の体育館の軒先にエンカレッジI（1室型）を2台設置しました。



倉敷市災害ボランティアセンター

被災下の中、泥だらけになりながらボランティアに励んだ方々のために、企業からの支援により、エンカレッジII（2室型）が2台設置されました。



常設コインシャワー

体育館・スポーツ施設・公民館・キャンプ場・道の駅・高速道路のSAなど、避難場所になる可能性のある施設に常設するコインシャワー



**施設の
有効活用**

**利用者
サービス**

**コスト
削減**

**災害時の
備え**

※コスト削減の試算もお気軽にお問い合わせください。



point

平常時

公共サービスとして使える、普通のコインシャワー。有料にすることで、設備費、光熱費などを賄うことができ、設備運営コストの削減も見込めます。

災害時

有料・無料切り替えスイッチで無料のシャワーに切り替え、被災者の方々に開放することが可能になります。



公共施設に続々導入されています。
既存のシャワー設備をコイン式に変更すること
などもできますので、まずはご相談ください。

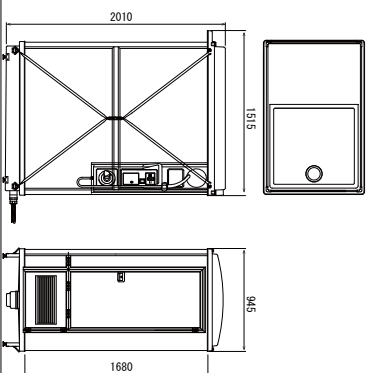
ユニットタイプ、コーナーパネルタイプ、コンパクトタイプ、身障者向け、ICカード利用タイプなど、環境やご要望に合わせている様々なタイプの製品をご用意しています。



製品仕様

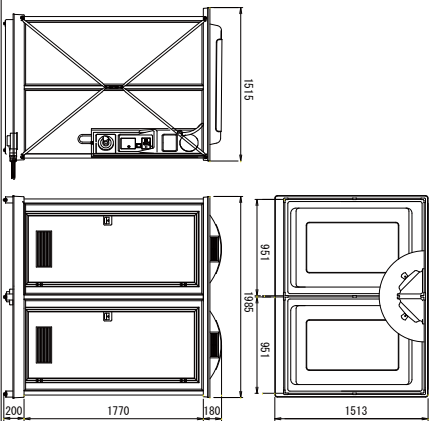
エンカレッジ I型

エンカレッジ車椅子仕様 シャワーユニット
寸法 収納時 650mm(H)×1,515mm(D)×2,010mm(W) 設置時 2,010mm(H)×1,515mm(D)×945mm(W)
重量 95kg
素材 屋根・床(パネル)：FRP積層成形



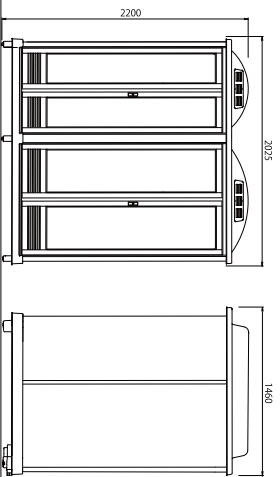
エンカレッジ II型

エンカレッジ車椅子仕様 シャワーユニット
寸法 収納時 650mm(H)×1,515mm(D)×1,985mm(W) 設置時 2,150mm(H)×1,515mm(D)×1,985mm(W)
重量 135kg
素材 屋根・床(パネル)：FRP積層成形



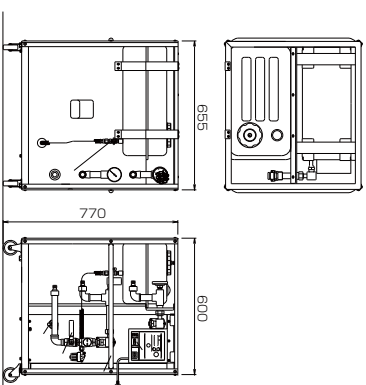
エンカレッジ III型

エンカレッジ車椅子仕様 シャワーユニット
寸法 収納時 650mm(H)×1,460mm(D)×2,025mm(W) 設置時 2,200mm(H)×1,460mm(D)×2,025mm(W)
重量 150kg
素材 屋根・床(パネル)：FRP積層成形

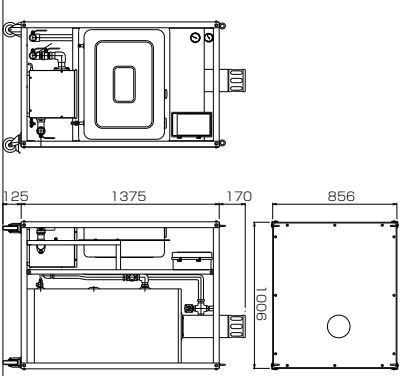


ポイラー

ポイラーユニット2~4室用
寸法：700(H)×655(W)×531(D)重量：48kg 灯油タンク：18リットル 給水方法：水道直結式 ポイラー：瞬間貯湯式灯油焚き40,000kcal/h 消費電力：点灯時100/95w 燃焼時85/85w

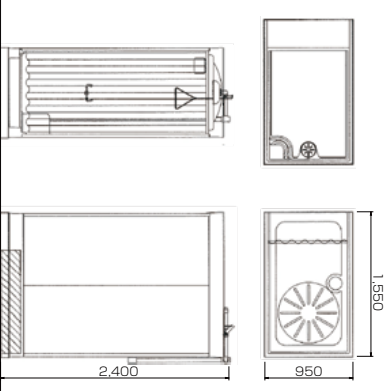


ポイラーユニット4~8室用
寸法：1415(H)×1000(W)×850(D)重量：190kg 灯油タンク：90リットル 給水方法：水道直結式 ポイラー：瞬間貯湯式灯油焚き60,000kcal/h 消費電力：点灯時145/142w 燃焼時130/127w



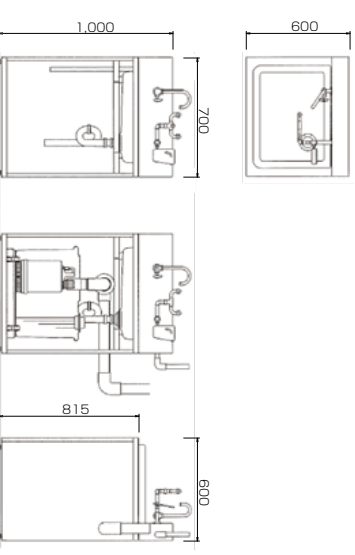
ボンチシャワー

緊急用シャワー室ユニット(排水ポンプ付)
寸法：2400(H)×960(W)×1560(D) 消費電力：AC-200V 900W/AC100V 40W 重量：175kg



洗眼用シャワー

緊急洗眼用シャワーユニット
寸法：1015(H)×700(W)×600(D) 消費電力：AC-200V 900W 重量：73kg



なぜコインシャワーの備蓄をおすすめするのか

入浴設備を確保する困難さを知った 阪神淡路大震災

弊社が災害対応の屋外型コインシャワー「エンカレッジ」を開発するきっかけになったのは、阪神淡路大震災。地震発生後、神戸市須磨区の避難現場にシャワーユニット3室と灯油ボイラーの給湯システムを組み込んだログ型シャワー1棟を寄贈しました。そしてその際に被災地での入浴施設の確保が如何に困難を伴うことかを知り、設置したシャワーを浴びられた被災者の方から両手をあわせて感謝されたことをきっかけに、災害時用のシャワー設備の開発を決意しました。

災害時は大量の慣れない業務で手一杯

災害時、自治体の何よりの苦勞は、自分自身が被災者でもある職員が、膨大に発生する大量の仕事や日々多様化していく住民の要求に添えなければならぬというところでしよう。入浴設備に限って考えただけでも、建物の崩壊や道路の陥没などによる物資の搬入の困難さ、資材や設置に関する専門知識を有する人材の不足、不特定多数の方が利用するための防犯や衛生面、公平性を担保する必要など、課題は山積です。それらを鑑みたときに、幸いにも当社の経験、技術、コインシャワーシステムの特徴が予想以上に災害時に適した製品の開発に向いており、手間いらずで清潔、公平、コンパクト収納など、みなさまにお喜びいただける製品を生み出すことができましたと自負しております。



かつて神戸市の被災地に寄贈したログ型コインシャワー棟後の新潟県中越地震の際に小千谷市の公民館に移送（写真は小千谷市）

レンタルトイレはあってもレンタルシャワーはない

仮設トイレであれば建設現場やイベントなどの需要があるため、レンタルやリースなどで容易に入手できますが、トイレほどの需要がないシャワー設備のレンタル・リースは非常に少なく入手が困難なうえ、あったとしても設置や撤去に専門の工事が必要なものがほとんどです。しかし、災害時には住民から入浴施設の確保の要望が寄せられることは間違いないと、自衛隊の入浴施設の支援は期間が限られています。それらことから、健全な避難所運営を行うためにも避難所になる可能性のある施設には、弊社の災害対策用コインシャワーを備蓄として導入していただけるよう、ご検討お願い申し上げます。

※災害発生後は注文が殺到する可能性があります。受注生産で製造している製品のため、在庫も少なく、災害が発生してからの要請では納入までに1〜2か月以上の期間を要する場合がございます。是非とも備蓄としての導入をご検討いただきたくお願いたします。

会社概要

社名	株式会社タニモト
所在地	〒561-0842 大阪府豊中市今在家町13番12号 TEL (06)6863-5666 FAX (06)6866-1335
工場所在地	〒561-0842 大阪府豊中市今在家町1番18号 TEL (06)6867-5658 FAX (06)6867-5657
創業	1966年3月
法人設立	1975年4月
資本金	10,000,000円
役員	代表取締役：谷本 和生（新社長） 役員：平野 義孝
業務内容	コイン式温水シャワー 製造・販売 コイン管理機器 設計・製作
取引銀行	三井住友銀行 豊中支店 尾崎信用金庫 園田支店

コインシャワーは硬貨（営利目的）と専用メダル（管理目的）で使い分けられます

ご相談・お問い合わせ・資料請求・見積り依頼はお気軽にどうぞ

06-6863-5666

受付時間：9：00～18：00 ※土日祝をのぞく

コインシャワーのターゲット

検索

